

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042-746-4622
担当部課名	保健福祉部	高齢者福祉	課	若竹園
事務事業名	自主事業費若竹園		事業コード	11220

1 総合計画における位置づけ

政策名	I 第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	いきいきとした高齢社会の創造	~63 年度
施策名	第2施策	高齢者の社会参加と生きがいづくり	

2 実施根拠及び関連法令等

老人福祉法第15条による老人福祉センター設置運営要綱・相模原市立老人福祉センター条例

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
高齢者の教養の向上と健康の増進を図り、趣味やレクリエーション等のための事業を行い、また、そのために必要な便宜を提供する。		60歳以上の市内高齢者	
		対象数	111,556人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
書道講座	15回	なし	
水彩画講座	15回		
アクリル絵画講座	15回		
社交ダンス講座	15回		
太極拳講座	15回		
演歌カラオケ講座	15回		
健康管理講演会	3回	(5) 個別計画の概要	
無料健康相談	24回	計画名 相模原市高齢者保健福祉計画	
		計画年次 12年度~16年度	
		若竹園の積極的な活用	

4 評価指標

指標名	各講座の受講者数	医師による健康管理講演会聴講者数	医師による無料健康相談者数
指標式	6講座146名×15回	年3回の講演会(6月・10月・2月)	月2回×12月
指標設定の意図	総受講者数を表す	総聴講者数を表す	相談者の数を表す

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	1,589.0	1,658.0	a 1,984.0	b 2,000.0	1,752.0	
指標	183.0	165.0	c 116.0	d 120.0	120.0	
指標	125.0	112.0	e 112.0	f 120.0	120.0	
事業費	決算(予算)額	2,091	2,091	2,091	1,905	
	人員・時間数	3人	3人	3人	3人	
	人件費	19,140	18,721	19,000	19,000	18,993
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	21,231	20,812	21,091	21,091	20,898
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 96.4%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
a	$\frac{1,984.0}{2,000.0} \times 100 = 99.2\%$	c	$\frac{116.0}{120.0} \times 100 = 96.7\%$
b		d	
e		f	$\frac{112.0}{120.0} \times 100 = 93.3\%$
理由 :	利用者のニーズに答えられるような、講演会の内容や教養初歩講座の講座科目の見直しを行い、より多くの高齢者が参加できるよう取り組む必要がある。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	老人福祉センター(A型)施設において必要な事業である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 :	教養初歩講座に関して、難しいものについては、講師助手を配置し、最後まで受講できるよう配慮している。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	老人福祉センター(A型)施設において必要な事業のため、可能性はない。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	講座によっては、募集人員が3~6倍を超えるものもあり、高齢者が、受講したい時期に受講できない。(募集は年1回、公開抽選により受講者決定)
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	講座や講演会の受講がきっかけとなり、趣味を通じての活動や健康の増進に関心をもつことで、高齢者が生きがいのある健康で明るい生活が送れることにつながり、重要である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 講座科目の見直しをすることで、より多くの高齢者の受講率を高める必要がある。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 平成14年度は、回数を減らしたが、(15回を12回に減)内容を考えるとこれ以上の削減は困難である。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	老人福祉センターを設置している他市も実施している。
今後の進め方		説明	老人福祉センター(A型)であるかぎり必要な事業である。要望の多い講座を取り入れ、受講者が最後まで受講できるよう配慮し、健康で楽しく毎日が暮らせるような健康管理講演会等設定して継続していきたい。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--